

財務省第2入札等監視委員会 令和6年度第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和6年9月20日（金） 東北財務局7階第一会議室	
委員	委員長 成田 由加里（公認会計士） 委員 高木 龍一郎（学校法人東北学院 理事長特別補佐） 委員 木村 史彦（東北大学会計大学院 院長）	
審議対象期間	令和6年4月1日（月）～ 令和6年6月30日（日）	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	2件	契約件名：（R06）秋田地区各所修繕工事（機械設備工事単価契約） 契約相手方：秋田日化サービス株式会社 （法人番号4410001000482） 契約金額：4,650,800円 契約締結日：令和6年4月1日 担当部局：東北財務局
		契約件名：山形税務署空調設備改修工事 契約相手方：株式会社西村工場 （法人番号8390001001463） 契約金額：40,700,000円 契約締結日：令和6年5月30日 担当部局：仙台国税局
随意契約（公共工事）	一件	—
競争入札（物品役務等）	2件	契約件名：仙台合同庁舎保安警備業務 契約相手方：株式会社東武 （法人番号6370001021309） 契約金額：89,667,600円 契約締結日：令和6年4月1日 担当部局：東北財務局
		契約件名：弘前税務署ほか39税務署、五所川原合同庁舎ほか7合同庁舎、青森第二合同庁舎及び青森法務総合庁舎で使用する電気の購入 契約相手方：株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス （法人番号1240001016937） 契約金額：164,212,172円 契約締結日：令和6年4月1日 担当部局：仙台国税局
随意契約（物品役務等）	一件	—
応札（応募）業者数1者関連	1件	※（R06）秋田地区各所修繕工事（機械設備工事単価契約）に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	回答	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	次葉のとおり	
	なし	

意 見 ・ 質 問	回 答
【事案１】 契 約 件 名：仙台合同庁舎保安警備業務 契約相手方：株式会社東武 (法人番号6370001021309) 契 約 金 額：89,667,600円 契約締結日：令和６年４月１日 担 当 部 局：東北財務局 落札者のみが他の入札参加者と比較して入札金額が低い、その理由は。 保安警備業務という性質上、人件費が圧縮されていると考えられるが、労賃や警備の履行体制に係る懸念はないか。 低入札価格調査において、入札金額の単価も確認しているのか。 【事案２】 契 約 件 名：（R06）秋田地区各所修繕工事（機械設備工事単価契約） 契約相手方：秋田日化サービス株式会社 (法人番号4410001000482) 契 約 金 額：4,650,800円 契約締結日：令和６年４月１日 担 当 部 局：東北財務局 一者応札となった要因は何か。 ２月公告、３月開札となっているが、入札スケジュールを早めることはできないのか。 いろいろな制約がある中で、一者応札を解消するための打開策はないのか。 【事案３】 契 約 件 名：弘前税務署ほか39税務署、五所川原合同庁舎ほか７合同庁舎、青森第二合同庁舎及び青森法務総合庁舎で使用する電気の購入	本事案については低入札価格調査を実施しており、業者から、業界内の競争が厳しく、従業員の雇用の維持を最優先とする経営判断に基づき、労務費や諸経費を見直し、入札価格を決定したということを確認している。 人件費については、業者から、最低賃金を確保したうえで、会社経費を可能な限り削減し、従業員の給与は守っていると聞いている。実際の警備の状況について、毎営業日、警備計画や警備状況のほか、従業員の健康状態等の報告も受けており、こうした確認の中で、当局で求めている業務は十分に履行していると判断している。 業者から入札金額の内訳を提出してもらい、当局の積算単価と比較している。また、単価の考え方等についても、業者に確認しながら、調査を行っている。 入札参加資格を有する業者に声掛けを行っているが、人手不足により対応が困難、他に受注している工事があり入札参加は不可といった声を聞いており、こうした要因が大きいと考えている。 例えば、人件費等の上昇が続いている中で、予定価格の算定に当たっては、最新の労務単価等を反映させたいと考えており、こうした状況に対応するためには、このスケジュールがぎりぎりのラインとなる。 入札参加資格を有する業者へ引き続き声掛けを行い、入札への参加を慫慂するほか、公告期間を十分に確保することなどにより、入札参加者の増加に努めてまいりたい。

意 見 ・ 質 問	回 答
契約相手方：株式会社エネルギア・ソリューション・アンド・サービス （法人番号1240001016937） 契 約 金 額：164,212,172円 契約締結日：令和6年4月1日 担 当 部 局：仙台国税局 電気の契約業者について安定供給に不安が生じるケースがあるが、各業者の官公庁等への供給実績等は調査しているのか。 入札不参加となった業者がいるが、その理由は。 複数年契約であれば参加業者が増えたとすれば、導入についてはどのように検討しているか。 入札参加の条件として、供給する電力に占める再生可能エネルギー比率を30%としているが、官公庁で統一的なものか。 【事案4】 契 約 件 名：山形税務署空調設備改修工事 契約相手方：株式会社西村工場 （法人番号8390001001463） 契 約 金 額：40,700,000円 契約締結日：令和6年5月30日 担 当 部 局：仙台国税局 落札率が99.1%とかなり高いが、予定価格はどうのようにして調査して積算したのか。 辞退及び不参加の理由は何か。 直近の空調設備改修工事の入札状況を示していただきたい。 【総評】 （事案1） 低入札価格調査について、より一層、丁寧な聴取に努められたい。	前年度、前々年度と不調の状況が続いており、この状況を改善するために、他の国税局や他官庁と契約実績がある業者を調査した上で、声掛けを行っている。 入札不参加の理由については、社内方針として、複数年契約を締結することを前提としているため、最終的に入札書の提出には至らなかったことを業者から確認している。 昨年まで、不調が続いていた状況を改善し、複数の業者に参加してもらえることを優先したため、単年度契約の現状を維持しながら、更に競争性を高めることができる方法を検討してまいりたい。 この比率は、国際的な方針に係るもので、環境省を中心に段階的に引き上げていくことを目標とする取組指標であり、当局においてもその方針に従って設定している。 過去の類似案件の落札状況から実勢率の見直しを実施して積算したほか、設計時に業者から聴取した見積書を参考にして予定価格の積算をしている。 改修内容が想定しているものと違ったためという理由のほか、他の現場が先に決まって現場代理人を確保できなくなったためと聞いている。 本年度においては4件あり、本件以外の3件は低入札となっている。低入札となった理由の一つとして、自社で取扱いのできるメーカーの空調機械があることから価格が抑えられると聞いている。